

## ◎ 評価対象分野・施策の方針

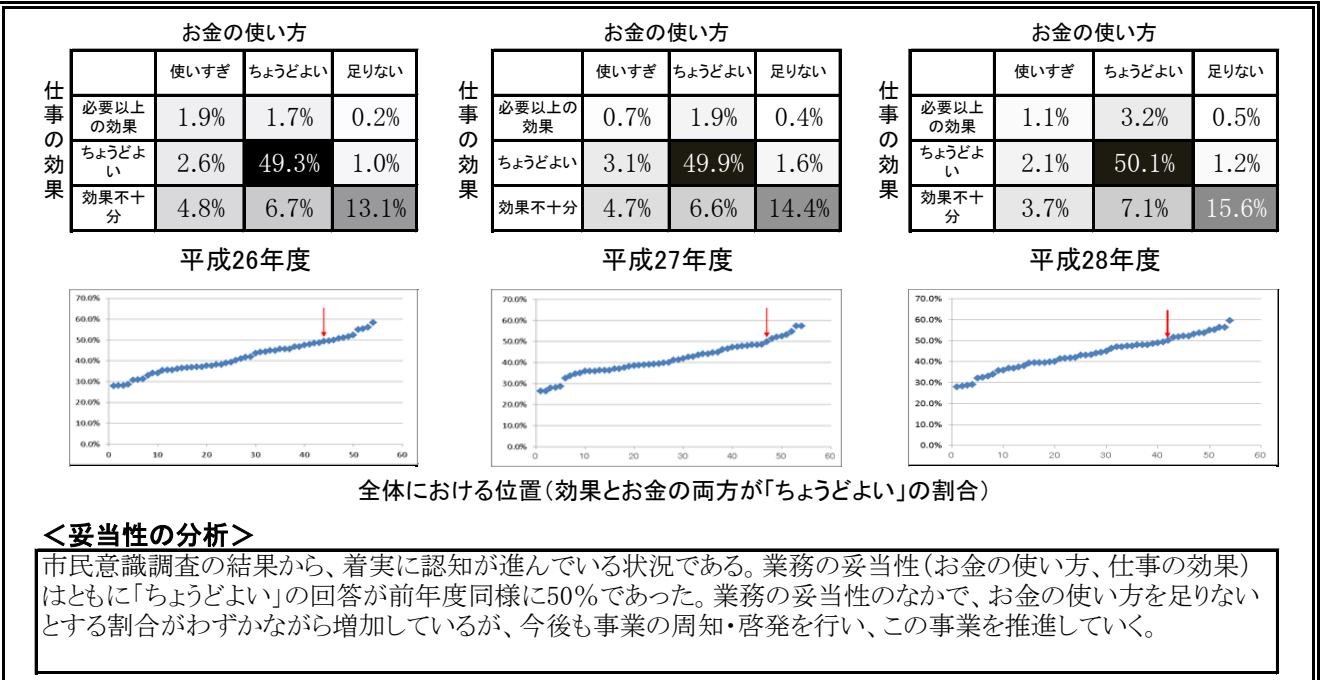
|            |    |      |       |       |
|------------|----|------|-------|-------|
| 総合計画上の位置付け | 分野 | 生活環境 | 施策の方針 | まちの美化 |
|------------|----|------|-------|-------|

## 1 市民意識調査結果

## (1) 認知度

|                       |        |       |        |       |        |       |               |
|-----------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------------|
| 取組を知らない・わからないと答えた人の割合 | 平成26年度 | 13.3% | 平成27年度 | 10.6% | 平成28年度 | 10.1% | (回答者全体に占める割合) |
|-----------------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|---------------|

## (2) 妥当性



## (3) 今後の進め方

|        | もっと力を入れるべき | 現状のままで良い | 力を入れなくて良い | 無回答   | 全体     |
|--------|------------|----------|-----------|-------|--------|
| 平成28年度 | 30.7%      | 51.7%    | 1.8%      | 15.8% | 100.0% |
| 平成27年度 | 32.2%      | 47.9%    | 3.6%      | 16.3% | 100.0% |
| 平成26年度 | 29.2%      | 49.0%    | 2.9%      | 18.9% | 100.0% |

## 2 内部評価

## (1) 平成28年度の目標

- ①散乱ごみの防止と不法投棄物をさせないまちづくりを促進するため、市民や活動団体等と協働して、ゴミ散乱防止の啓発や不法投棄防止や落書き防止の巡回や調査活動等を行う。(環境-18)
- ②アダプト・プログラム団体の登録促進や次世代の美化運動の担い手の育成など環境美化の推進に取り組んでいく。(環境-19)

## (2) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

| 評価対象事業名 |           | 決算値(千円) |        | 総事業費(千円) |        | 職員数(人) |        | 今後の方向性 |      |
|---------|-----------|---------|--------|----------|--------|--------|--------|--------|------|
| 整理番号    | 事業名       | 平成27年度  | 平成28年度 | 平成27年度   | 平成28年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | 事業内容   | 予算規模 |
| 環境-18   | 環境美化事業    | 314     | 365    | 11,760   | 11,786 | 1.5    | 1.5    | d      | A    |
| 環境-19   | 美化運動事業    | 4,807   | 6,441  | 23,884   | 25,476 | 2.5    | 2.5    | d      | A    |
| 環境-20   | 公衆トイレ清掃事業 | 50,988  | 47,496 | 62,434   | 58,917 | 1.5    | 1.5    | d      | A    |

### (3) 主な実施内容

#### 【主な実施内容】

- ①公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務を行った。(環境-18)
- ②ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施した。(環境-19)
- ③路上喫煙禁止区域の巡回・注意喚起を行い、屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。(環境-19)
- ④市民団体とともに市内一斉清掃(クリーンアップかまくら)を年2回(春・秋)実施した。(環境-19)
- ⑤まち美化統一クリーンデー実施組織への奨励金の交付を行った。(環境-19)
- ⑥まち美化推進協議会を開催するとともに、まち美化推進員によるキャンペーンを実施した。(環境-19)
- ⑦まち美化推進員の協力を得て、路上喫煙禁止区域内のたばこの吸殻ポイ捨て状況調査を実施した。(環境-19)
- ⑧アダプトプログラムの登録団体は平成28年度中に新たに2団体が登録された。(環境-19)
- ⑨市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施した。(環境-19)
- ⑩美化運動の担い手育成の具体的な実践として、落書きの消去活動を高校生が参加し実施した(環境-19)
- ⑪公衆トイレ(38か所)の日常清掃業務等を実施した。(環境-20)

#### 【実施できなかった事業とその理由等】

ごみの散乱防止や不法投棄の防止については、すみやかな回収・処分が求められる。不法投棄物の処分については土地所有者等が処分することになるため、達成が不十分な状況がある。不法投棄がされない環境づくりや意識の醸成も求められ、引き続きごみのポイ捨てや不法投棄防止の注意喚起を周知・啓発し、まちの美化を推進していく。

### (4) 平成28年度の取組の評価

|     |                                            |      |       |
|-----|--------------------------------------------|------|-------|
| 効率性 | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか     | ■ 適切 | □ 要改善 |
| 妥当性 | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか          | ■ 適切 | □ 要改善 |
| 有効性 | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか           | ■ 適切 | □ 要改善 |
| 公平性 | 「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか | ■ 適切 | □ 要改善 |

#### <上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

市内の公共の場所への不法投棄物の回収・処理業務を行い、ごみの散乱をされない環境づくりの施策を実施し、清潔なまちの維持に努めている。路上喫煙禁止区域の巡回・注意喚起を行い、屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。

### 3 評価結果や市民意識調査結果をふまえ、施策の方針等としての、今後の方向性

- ①散乱ごみの防止と不法投棄物をさせないまちづくりを促進する。(環境-18)
- ②市民や活動団体等と協働したごみ散乱防止の啓発、不法投棄防止や落書き防止の巡回や調査活動を実施する。(環境-19)
- ③アダプト・プログラム団体の登録促進や次世代の美化運動の担い手の育成に取り組んでいく。(環境-19)

### 4 平成29年度の目標

散乱ごみの防止と不法投棄物をさせないまちづくりを促進する。  
市民や活動団体等と協働したごみ散乱防止の啓発、不法投棄防止や落書き防止の巡回や調査活動を実施する。  
アダプト・プログラム団体の登録促進や次世代の美化運動の担い手の育成に取り組んでいく。

### 5 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

| 整理番号                         | 環境-18     | 事業名    | 環境美化事業 | 単位     | 件    | 指標の傾向 | 備考    |
|------------------------------|-----------|--------|--------|--------|------|-------|-------|
| 指標の内容                        | 不法投棄の処理件数 |        |        |        |      |       |       |
| 当該指標を設定した理由                  | 年次        | H26    | H27    | H28    | H29  | H30   | H31   |
| 不法投棄への対応状況を明確に示すため           | 目標値       | 80.0   | 80.0   | 70.0   | 60.0 | 50.0  | 40.0  |
|                              | 実績値       | 61.0   | 73.0   | 56.0   |      |       |       |
|                              | 達成率       | 76.3%  | 91.3%  | 80.0%  |      |       |       |
| 整理番号                         | 環境-19     | 事業名    | 美化運動事業 | 単位     | %    | 指標の傾向 | 備考    |
| 指標の内容                        | 落書きの消去率   |        |        |        |      |       |       |
| 当該指標を設定した理由                  | 年次        | H26    | H27    | H28    | H29  | H30   | H31   |
| 落書き消去率の向上が、新たな落書き発生の抑止力となるため | 目標値       | 98.0   | 98.0   | 99.0   | 99.0 | 100.0 | 100.0 |
|                              | 実績値       | 100.0  | 99.2   | 100.0  |      |       |       |
|                              | 達成率       | 102.0% | 101.2% | 101.0% |      |       |       |

鎌倉市民評価委員会からの指摘

課題

- ・まちの美化の意識に関して市内で地域差がないよう、各地域の市民と協力して進めていくことが求められる。
- ・地域住民の清掃により、まちはきれいに保たれているが、週末は散乱ごみが増えており、その対応として、外国人を含めた来訪者に対する美化意識の啓発が問題である。
- ・市民、NPOはまちのために行動しているが、職員のボランティアに対する意識が低い。真の協働の推進を望む。
- ・昨年の評価委員会から「トイレ設置者と清掃担当が別の所管では効率的でない。」と指摘しているが、なぜ一元管理ができないのか？トイレの設置と維持管理及び、清掃担当の一元管理の調整が行われていない点について、そもそも一元管理をした方が良いのかを熟慮の上の調整が求められる。
- ・まち美化活動率がやや低下していることが問題である。



指摘への対応、コメント等

- まち美化の意識は、基本的に地域間格差はないと認識しています。観光客の来訪が多くごみの散乱が目立つ地域については、ごみのポイ捨て防止の周知・啓発活動を推進していきます。
- 来訪者に対するまち美化意識の啓発について、観光部門とも連携し、周知啓発を図ります。
- 職員の市民協働意識が向上するよう、意識の醸成を図ります。
- 事業が効率的・円滑に運営されるように行政事務の一元管理化について、ひきつづき研究を行います。
- 市民や関係団体によるまち美化に係る活動が向上するよう、意識の醸成について周知啓発を図ります。

提言

- ・ごみの散乱や不法投棄などは観光客や海水浴客など、鎌倉市民以外の行為が多いことから、「観光」部門と連携し、防止の取組を行うべきである。訪れる人に、いかに美化への働きかけができるかの取組を期待したい。
- ・指標としている「不法投棄の処理件数」は、0件を目指すべきである。
- ・「落書きの消去率」ではなく、落書き件数を指標とすべきである。



提言に関するコメント等(総論)

- 「観光」部門と連携し、来訪者によるごみの散乱防止やマナー向上の周知・啓発活動を推進していきます。
- 近年の落書きは、小型のシールを貼り付けるタイプのものが増加しており、件数自体が増加しています。このため、そうした落書きの消去や撤去を確実の行うことがまち美化の具体的な効果であり、引き続き「消去率」を指標として取り組みを進めていきます。

## 鎌倉市民評価委員会の評価

### 《評価できるところ》

- ・アダプトプログラムの登録団体が2つ増えたことは評価したい。
- ・美化に関する取組（不法投棄回収、巡回、注意喚起、ポイ捨て状況調査、落書きパトロール等）
- ・できることをしっかりやっという事業展開になっており、背伸びをしていない点は、良いことだと思う。
- ・市民参加によるまち美化活動を中心に、散乱ごみや落書き防止の取組に努めていることは評価できる。市民団体との協働により落書き防止の啓発活動、落書きの消去活動、通報、パトロール活動を実施し、まちの美化に貢献している。
- ・路上喫煙禁止区域の巡回指導を行い、屋外の公共の場所での喫煙の防止対策を実施した。
- ・路上喫煙者及び吸い殻の散乱が減少した。

| 評価の内訳 |   |   |   |   |   | ⇒ | 委員会の評価 |
|-------|---|---|---|---|---|---|--------|
| 取組    | ↑ | 2 | ↓ | 0 | → |   | →      |
| 効果    | ○ | 3 | △ | 0 | — |   | ○      |

### 《課題》

- ・落書きの消去率は100%で良いのではない。
- ・最大費用の「公衆トイレ清掃事業」については指標が設定されていないし、「日常清掃業務を実施」とだけ報告がある。問題点・課題はないのか。
- ・公衆トイレの運用等の今後の方向性に関する検討はますます重要と考えられる。
- ・地域住民の清掃により、まちはきれいに保たれているが、週末は散乱ごみが増えている。
- ・平成28年度以降のまち美化行動計画及び落書きのないまちづくり行動計画の改訂を行うとあるが、「消去率」を指標として取組を進めている。指標の設定の根拠が不明なものが多い。件数なのか、比率なのかかわからない。
- ・ゴミの散乱されない環境づくりの施策の内容とはどのようなものなのか。市民はもちろん、観光客など市外の人たちにもどう周知し実行していくのか、その効果を今後注視したい。
- ・一昨年度の評価委員からの「観光客を含めたごみの不法投棄への周知・啓発の広報のあり方を検討してほしい。悪質な行為については行政の強い対応も必要になる。」という指摘に対し「現在も駅頭でのキャンペーンや広報、ホームページでの周知・啓発を行っているが、どのような方法が効率的に周知・啓発ができるのか検討していく。また、悪質な行為については、警察等関連する部署との連携について検討していく。」と回答しているが、これらに対する検討が見られない。
- ・ポイ捨て調査の結果何が判明し、その結果どのような対応を行う事としたのかを明記されたい。

### 《提言》

- ・季節により路上喫煙禁止区域を広げることではないか。（海開きの期間は滑川まで延長できないか。）
- ・タバコのポイ捨てや不法投棄を減らす上でもその指導員の権限の強化を始め対策の強化を図るべきではないだろうか
- ・「ごみを散乱されない環境づくりの施策を実施」とあるが具体的にどのような手立てを打ったのか、どのような成果があったのかを明示してほしい。
- ・「地域・期間」を特定しての「ごみ持ち帰り」の条例化を検討してほしい。
- ・不法投棄は地域差があると思う。常に監視しているわけにはいかないが、地域住民との協力、パトカーでの巡回など地道な活動を望む。
- ・「市民参加によるまち美化活動」が目標とすべきまちの姿に明記してあるため、「主な事業における指標」には、市民参加によるまち美化活動に関する指標を入れるべきである。
- ・マナーの悪い観光客に対する啓発等も必要ではないか。
- ・まち美化活動率がやや低下していることに配慮すべきである。
- ・公共の場所への不法投棄物の回収・処理はもちろん必要であるが、不法投棄をさせないための取組を行うべきである。
- ・ポイ捨て調査の結果、何が判明し、その結果どのような対応を行う事としたのかを明記すべきである。
- ・指標については、ともに件数と率の両方が必要である。また目標は「100%」とすべきである。
- ・不法投棄をさせないための取組が必要である、飲食物の販売店等において管理されたゴミ箱の設置を促進する等の

### 《質問》

- ・「不法投棄」には投棄場所・投棄物品等に一定の特徴がないのか。投棄させない対策を検討してほしい。